

政府開発援助等に関する特別委員会

委員一覧（30名）

委員長	山田 俊男（自民）	岩井 茂樹（自民）	長浜 博行（民進）
理事	井原 巧（自民）	宇都 隆史（自民）	真山 勇一（民進）
理事	大野 泰正（自民）	大家 敏志（自民）	新妻 秀規（公明）
理事	中西 祐介（自民）	二之湯 武史（自民）	宮崎 勝（公明）
理事	松下 新平（自民）	野村 哲郎（自民）	井上 哲士（共産）
理事	相原 久美子（民進）	丸川 珠代（自民）	辰巳 孝太郎（共産）
理事	矢倉 克夫（公明）	三宅 伸吾（自民）	藤巻 健史（維新）
	朝日 健太郎（自民）	元榮 太一郎（自民）	又市 征治（希会）
	有村 治子（自民）	石上 俊雄（民進）	蓮 舫（立憲）
	石井 準一（自民）	小西 洋之（民進）	アントニオ猪木（無ク）
			(30. 1. 22 現在)

（１）審議概観

第196回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

2月16日、参議院政府開発援助調査に関する件について、平成29年度政府開発援助調査派遣団の参加議員からの意見表明を踏まえ、援助受入国におけるドナー国間での援助の競合や調整の在り方、キューバでの調査における同国側からの具体的なプロジェクトに関する要請の有無、モンゴルにおけるツーステップローン事業の成果と今後の課題、核実験で人的被害などが出たセミパラチンスクの現状と医療支援等の必要性、西アフリカなど仏語圏から日本留学を志す際に英語が必須となる等の問題への対応、開発援助に日本の独自性を出す意味で平和や治安維持などの分野に一層注力する必要性、参議院が行っているODA調査派遣に対するJICAの認識等について意見交換を行った。

3月22日、予算委員会から委嘱された平成30年度政府開発援助関係経費の審査を行い、前年比1億円増額の外務省ODA予算に関する河野外務大臣の評価や今後の考え方、SDGs等国際的な開発目標に関する広報及び学校教育での啓発の必要性、途上国の交通インフラ整備における入札等の制度構築を含めた技術協力の在り方、ODAによる石炭火力発電所の建設支援に対する国内外の批判を踏まえた政府の方針、パプアニューギニア・ブーゲンビル自治政府に対するODAによる支援の在り方、ODAにより原子力発電所建設支援を行わない理由、平成22年の外務省による外交文書の欠落問題に関する調査に対する評価、平成30年度外務省予算における中南米日系社会との連携強化の具体的内容等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成30年1月22日(月) (第1回)

- 特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○平成30年2月16日(金) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 参議院政府開発援助調査に関する件について意見の交換を行った。

○平成30年3月22日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成三十年度一般会計予算(衆議院送付)
平成三十年度特別会計予算(衆議院送付)
平成三十年度政府関係機関予算(衆議院送付)
(政府開発援助関係経費)について河野外務大臣から説明を聴いた後、同大臣、佐藤外務副大臣、政府参考人、参考人独立行政法人国際協力機構理事長北岡伸一君、同機構理事江島真也君、株式会社国際協力銀行常務執行役員インフラ・環境ファイナンス部門長弓倉和久君及び株式会社日本貿易保険取締役岡田江平君に対し質疑を行った。

[質疑者]

- 井原巧君(自民)、相原久美子君(民進)、
 - 矢倉克夫君(公明)、井上哲士君(共産)、
 - 清水貴之君(維新)、又市征治君(希会)、
 - 蓮舫君(立憲)、アントニオ猪木君(無ク)
- 本委員会における委嘱審査は終了した。

○平成30年7月20日(金) (第4回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府開発援助等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。